

### 好評! 「リリーフペイント」

#### 独自のスプレーステンシル工法で歩道・床面を美しく舗装

歩道、駐輪場、駐車場、各種公共施設に使用する舗装剤は耐久性、耐摩耗性、防滑性など機能的要素が求められることは当然だが、同時に美観、見た目の美しさに優れていることも重要なポイントだろう。道路、床面の表面を美しく舗装することで現場の印象はまるで違ったものになる。表面のデザイン、カラーリングをグレードアップすることによって人の通り道、生活空間は見違えるような輝きを増す。

大成ファインケミカル(本社・東京都葛飾区、徳倉俊一会長、稲生豊人社長)が開発した「リリーフペイント」は、街の生活ゾーンを快適空間に変身させる注目の魅力製品だ。

リリーフペイント施工後



写真① 東京都葛飾区の葛飾公園歩道

リリーフペイント施工後



写真② 東京・北区の「武蔵野の路・石神井コース」



同施工前



同施工前

### 33色・19パターンの型紙の組み合わせでデザイン選択肢はバリエーションに富む

大成ファインケミカルが開発した「リリーフペイント」は、アスファルト舗装面の保護とカラーリングを目的に開発された高性能シリコンアクリル樹脂系塗料で、独自機能を備えた高品質製品だ。

「リリーフペイント」はステンシルペーパーを使用したスプレーステンシル工法を採用しており、アスファルト舗装面に多彩な意匠性を付与することが可能。33色のカラーと19パターンの型紙を持っているので、その組

み合わせ・デザインの選択肢は実にバリエーションに富む。道路や施設の立地条件、周囲の環境に合わせて好みのデザイン、カラーリングを選択できるのは他社製品に見られない特長と言えるだろう。

また、「リリーフペイント」は耐候性、耐摩耗性、防汚性、耐薬品性に優れており、耐久性能



写真③ 「リリーフペイント」を施工した埼玉県北本市の歩道・自転車道



写真④ 「リリーフペイント」施工後の東京都国立市・国立市役所内歩道

を施工した埼玉県北本市の歩道・自転車道、写真④は同じく「リリーフペイント」施工後の東京都国立市・国立市役所内歩道だ。

両現場とも耐久性、耐摩耗性、防汚性、美観など「リリーフペ

イント」の特性が評価され、生活道路での採用に至ったものだ。「リリーフペイント」は東京都葛飾区の京成立石駅駐輪場などの駐輪場床面の舗装にも採用されている。紙幅の都合上、写真は割愛させていただいたが、美しい仕上がりで好評だ。

「リリーフペイント」は「ゾーン30プラス」政策のフィロソフィーである“人優先”のみちづくり、まちづくりに合致した魅力製品と言えるだろう。

目地部との段差が1mm程度であることも「リリーフペイント」の特長で、車椅子などの通行に優しいバリアフリーの床面を創造することが可能だ。

湿潤時でもすべりにくいノンスリップ仕上げであることや、低臭

気(施工中)で人や環境に優しいことも特筆事項。タイルやブロック石貼りと較べて工事日数が大幅に短く低コストであることも発注者の評価を高めている要因だ。

「リリーフペイント」は「ゾーン30プラス」政策のフィロソフィーである“人優先”のみちづくり、まちづくりに合致した魅力製品と言えるだろう。

気(施工中)で人や環境に優しいことも特筆事項。タイルやブロック石貼りと較べて工事日数が大幅に短く低コストであることも発注者の評価を高めている要因だ。

「リリーフペイント」は「ゾーン30プラス」政策のフィロソフィーである“人優先”のみちづくり、まちづくりに合致した魅力製品と言えるだろう。

「リリーフペイント」の施工方法は①型紙を設置、②スプレー塗装、③型紙を剥がす、の作業行程でOK。「リリーフペイント」は塗料なので化粧直し、補修が他の工法より簡単だ。「リリーフペイント」は変化の早い時代にマッチした景観材料、工法なのだ。

ちなみに電鉄会社の駅のプラットフォームの工事では耐久性、メンテが楽、速乾性、低臭性、バリアフリー、防滑性などが大事な要素となるが、「リリーフペイント」はそのいずれの条件もクリアしており、電鉄会社の高い評価を得ている。

### 関東地区主軸に増え続ける施工現場

「リリーフペイント」の評価は高く、さまざまな現場の施工事例が増えている。その一部を施工前と施工後の写真を交えて紹介したい。

写真①は東京都葛飾区の葛飾区公園の歩道だ。一見、レンガ調のインターロッキングブロック(ILB)に見えるが、これは「リリーフペイント」で、凹凸はなくバリアフリーの仕上がりがだ。ILBではないので経年での凹凸の発生も起こらない。「リリーフペイント」はバリアフリーと適度なすべり防止効果を両立させており、安心・安全に注力した舗装材だ。

施工前の写真と較べると美観

の違いが歴然としている。

写真②は東京・北区の「武蔵野の路・石神井コース」。区民にとって大事な川沿いの生活道路で、「リリーフペイント」が5000㎡にわたって採用されている。

以前はブロックを組み合わせながら設置するILBだったが、凹凸の発生や雨天時に滑るなどの問題があり、「リリーフペイント」に切り替えられた。ILBは見た目の高級感があるものの、凹凸が発生しやすいのが難点。その点を勘案して「リリーフペイント」が採用されるケースが増えているという。

写真③は「リリーフペイント」



「リリーフペイント」スプレーステンシル工法の作業風景